

ヒヤリ・ハット事例

一般社団法人千葉県産業廃棄物協会

26.10.31までの回答分

外注作業その他

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
1	船橋市	工事終了時に工事予告看板を撤去中	二人で、設置してある看板の針金をはずしていた際、声かけが不十分で、撤去した看板が車道に倒れてしまった。	走行する車、バイク、自転車に十分に注意し、固定部をはずすときは、互いに声かけを徹底する。	○				
2	自社残渣梱包機周辺箇所	エアガン(コック式)を使用している清掃作業中	誤ってエアガンを離してしまい、ホースの先端が暴れた。	エアガンをしっかり握り、離さないように操作する事は基より、誤ってエアガンを離してしまった場合は、慌てずホースの先端を足で押えて対処する。	○				
3	自社入口箇所	事務所より操業に向かう途中	入場しようとしたところ、小さなビニール袋の破片が足元に落ちていた。滑らないだろうと思い、それを踏んで歩いたところ転倒しそうになった。 雨が降っていた事もあり、普段よりも滑りやすくなっていたらしい。	風等で施設内に色々な物が吹き込んでくる事も多々あるので、歩行時は障害物に十分注意する。 普段から清掃の徹底を図る。	○		○		
4	自社工場入口付近	ビン籠を定位置に戻すとき	作業員が、搬入トラックの後ろを横切った。	トラック搬入時には、作業員の位置及び行動を確認する。		○			
5	選別残渣CV2	コンベアー下の清掃中	コンベアーに頭を数回ぶつけた。	いつも通りに頭を下げたつもりが、コンベアー修理箇所につけてしまった。 十分に頭を下げて通る。	○				
6	造粒機カップリング	カップリングのエア清掃中	一度、エアを止めようとバルブを閉めたが、留め金部分がゆるんでいてまた開いてしまい、エアが勢いよく出て、カップリングの熱がはね返り、顔に当たった。	バルブを直す。	○				
7	自社工場内	前選で分別しているとき	重機や搬入のトラックと接触しそうになった。	オペレーターや運転手は安全確認をする。 自分自身もよく確認する。		○			
8	自社工場内	タンブラーでフォークリフトを運転しているとき	路面が濡れていた為、タイヤが滑って壁にぶつかりそうになった。	濡れている、いないに関わらず、自分の運転にもっと慎重になる。			○		

収集運搬

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動 (本人)	不安全行動 (他人)	不安全 状況	不安全 設備	重機 作業
1	安房郡鋸南町 勝山	片側一車線のゆるい右カーブを40～45km位で走行中	前方左側に走行者・自転車が並列していたため、ハンドルをセンターライン寄りに切ったところ、前方から大型トラック(タンクローリー)が直前に来たため、急ブレーキを踏んだ。	1. 自転車の右側走行をやめてもらう 2. 自車が徐行すべきである 3. 通学路であるのに歩道もなく街灯もない。死亡事故が起きる前に道路に根本的な安全対策をすべきである	○	○	○		
2	習志野市津田沼	契約ビルの1Fのピットにバックで入る際	歩道を横断しなければならないが、通勤の人が多く、人波が途切れれない。待つてくれる人もいるが、急いで走って無理に通行する人もいるので、タイミングが難しい。	通行する人に声かけを行い、十分注意して走行している。			○		
3	船橋市宮本 小学校内	校内を走行中	雨水のマンホール上を走行した際、マンホールのフタが破損した。	場所によっては耐圧でないもの、老朽化したものがあるので、走行時は乗らないようにするか、なるべく隅を走行する。	○			○	
4	産廃収集先	積み込み作業中	コンテナの上に乗って作業をしていた為、コンテナ上から転落しそうになった。	コンテナ上での作業は極力さける。	○				
5	一般収集先	積み込み作業中	廃棄物収集時、袋をつかんだ時に手を切ってしまった。	内容物の確認を徹底する。 袋に入っている廃棄物は結び目を持って内容確認する。 袋は体から極力離す。			○		
6	産廃収集先	荷下ろし作業中	収集してきた廃棄物を、現場内で荷下ろしする為コンテナアオリを開けたら、荷崩れしてぶつかりそうになった。	あらかじめ荷崩れを予想して対応する。 排出事業者より廃棄物の情報を確認し、アオリの両サイドどちらかに体を置く。	○		○		
7	産廃収集先 (ワードローブ別館バス停付近)	歩行者が通行中だったので停車していたところ、自車が通行できそうになったので発車しようとしたとき	別の車が右側から割り込んできた。後方にはシャトルバスもいなかったのでもちろん安全を確保しようとしていたのだが、その車両は右側を通り抜けられると思ったのか、こちら側を制して行きたかったらしい。	歩行者の通行待ち中に右側を空けない様にする、対向車の進行妨害になるので、やはり譲り合いが大事だと思う。		○			
8	T字路 (L側ショーコスチューム棟前)	アームロール運転中	T字路を左折しようとした際、左路肩に停車していた車両がウインカーも出さずに車線に割り込みしてきた。	「かもしれない運転」を励行する。		○			○
9	産廃収集先 (ディスパッチ1)	回収に向かうとき	回収場所に近づいた為、停車の体勢に入るとき、左側の歩行者通路から三輪バイクが勢いよく飛び出してきた。	まさかと思う場所で意外な物が出てきたり、意外な事が起きたりするの、通路等でもしっかりと安全確認しなければいけない。		○			
10	回収場所付近	走行中	前方を歩いていた若者三人組の一人が、もう一人をわざと突き飛ばし、飛ばされた方は轢かれるふりをして前方に急に飛び出してきた。	歩行者の動きには十分に気を付けて走行する。		○			
11	国道16号千葉市中央区川崎町付近	走行中	パッカー車にて左側車線を走行中、歩道を走行していた自転車の女性がバランスを崩して、車道に倒れ込んできた。	走行中は前方の車両だけでなく、歩行者や自転車の動きにも十分に気を配る。		○			

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
12	T字路交差点	パッカー車で直進中	直前を走行していた自転車が、後ろも振り返らずにいきなり右折してきた。	自転車や歩行者であっても道路を横断しようとするときは、目視にて安全の確認を十分に行うべき。走行中は自転車や歩行者の動きにも十分に気を配る。		○			
13	片側二車線の道路上	走行中	Uターン禁止の場所で、前方左車線を走っていた車両が急にハザードランプをつけてUターンを開始した為、接触するのではないかと思った。	決められた交通ルールを守る。前方の車両の動きに十分配慮した車間距離を保つ。		○			
14	回収場所	生ごみの回収作業中	生ごみの入った袋を回収しようとしたところ、中に串が混入しており、指に刺さりそうになった。	ごみの分別を徹底する。回収時には袋の状態をよく確認する。			○		
15	首都高羽田線	高速道路走行中	前方を走行中の大型ダンプの荷台から、ガラ(石)が落ちて自車に当たりそうになった。	さらに車間を取る。			○		
16	首都高横羽線	高速道路走行中	無理な割り込み車が前に入ってきた。	車間を十分に取る。		○			
17	首都高	高速道路走行中	出口に向かった前方の車が、急に本線に戻ってきた。	車間を十分に取り、前方の車の動きに注意する。		○			
18	三宅坂JCT付近	走行中	4号線に入ろうとしたところ、前方の乗用車が道を間違えたらしく、バックしてきた。	どうしようもないが、こういう事もあるのだらうと想定して走るようにする。		○			
19	首都高	走行中	渋滞に巻き込まれ、前方の車が急ブレーキを踏んだ。	日頃から、前方や周りの状況を確認する癖を身につける。		○			
20	国道296号八千代市	小路地より国道の対向車線に出る際	通勤時間帯でもあり対向車線ばかり気にしていたが、国道に出た瞬間、目の前を自動二輪が横切り、危うく接触するところだった。	遠くばかり気にしすぎていて、近くや動きの遅いものへの意識が足りなかった。もっと全体的な状況判断を徹底する。	○		○		
21	東葛西5丁目	歩行中	横断歩道を渡っているとき、右折してきた車両は停止していたが、その横から自動二輪が通過してきた。	横断中も周囲状況を確認し、すみやかに渡る。		○			
22	洗車場	車両を後退しているとき	車両がコンテナ等に接触しそうになった。	現場のルールを守る。	○				
23	交差点	トラック走行中	ウinkerが出たままだった為、ぶつかりそうになった。	ウinkerの戻りを確認する。	○				
24	市川市住宅街	一般廃棄物回収作業中	廃棄物置き場から廃棄物を車に運ぶ際、通行人と接触しそうになった。	・周囲の安全確認の徹底。 ・急いでいるときでも安全を第一に考え、必ず確認をする。	○				
25	作業所内	車両を乗り換えたとき	コンテナ内に水が大量に入っていた。	出発する前に必ずコンテナ内が空であることを確認する。	○				

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
26	高速道路	走行中	相手の車がウインカーも出さずに無理な追い越しをし、走り去って行った。	目視・ミラーによる確認で危険予知し、先々の危険回避をする。		○			
27	首都高湾岸線	渋滞時に高速のJCTに進入しようと左折したとき	前方を走行中の車両が、ウインカーを点けずにいきなり左折してきた。	渋滞時でも車間を十分空ける。「かもしれない運転」を心がける。		○			
28	回収先	バックしているとき	バックモニターが光の加減で何も映らない状況だった為に目視でバックしたが、急にモニターに物が映り、ぎりぎりだった。	もっと車両の間隔を考え、こまめに車両から降りて確認する。	○		○		
29	クリーンセンター内	布団積み込み時	布団にからまっていたヒモが足にからまり、すくわれそうになった。	ヒモやコードがついている廃棄物は取り扱いを注意する。	○				
30	収集先	6t平ボディの上で網シートをかぶせているとき	上に乗って網シートを広げた後、降りようとしてシートに手を乗せた時に、滑ってバランスをくずし、転落しそうになった。	不安定な所、特に高い所での作業は十分に気をつける。網シートは思った以上に滑るので、降りる時には確実に足場を確保する。	○				
31	高速道路	走行中	前方の車が出口で左にウインカーを出していた為、降りるのかと思っていたが、間違えたようでまた走行車線に戻ってきた。	前車との車間距離を取る。		○			
32	首都高	走行中	前車との車間距離を多目に取っていたら、強引な割り込みをされた。	適度な車間距離にする。		○			
33	道路上	走行中	T字路の右折時に、大型車が通った後に反対から乗用車がスピードを出してきてヒヤリとした。	左右の確認が足りなかったので、再確認をする。		○			
34	幕張テクノガーデン	2t箱車で廃棄物を積み込みするとき	積み込み場所の高さ制限で2t車が入れない高さの為、確認の上、違う場所に車を止めて積み込みした。	何度も降りて確認をすべき。	○				
35	浦安	駐車場内	子どもを自転車に乗せてきた母親が歩道に自転車を止め、子どもを乗せたまま買い物に行ってしまったが、バランスがくずれて自転車が倒れてしまった。	子どもはヘルメットをかぶっていたため無事だったが、もし車道側に倒れたら大変な事になると思うので、自転車に子どもを乗せたまま離れないようにしてほしい。もちろん運転している私達も周りの安全確認をしっかりと行動する。		○			
36	一般道路	3tパッカー車を運転中	見通しの悪いカーブで対向車のトレーラーが勢いよくセンターラインをはみ出してきたので、急ブレーキをかけて止まった。	見通しの悪いカーブは速度を落として走行する。		○			
37	収集先(鬼高)	ゴミ回収作業を終え、車両を発進し始めたとき	停止位置直前の右側の倉庫の扉が勢いよく開き、人が出てきた。	停止位置を変更する。同じような場所では低速で、扉との間隔を十分に取って通過する。		○			
38	市川市田尻クリーンセンター付近	走行中	わき道から自転車が左右確認せずに車道に飛び出してきた。	いつも注意はしていたが、ヒヤリとする事があるので、さらに速度を下げ、安全に走行する。		○			

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
39	浦安市高州T字路	パッカー車でクリーンセンターへ向かう途中	マンションに囲まれたT字路の横断歩道の手前で一時停止し、歩行者がいなかったため少し前進して左右の状況を確認したところ、車が来ていたので横断歩道に乗りながら車が通り過ぎるのを待った。少しして車が途切れ、いざ出発しようとしたとき、幼稚園児が横断してきてブレーキを踏んだ。	サイドミラーに何も映らない死角からトラックの目の前を通り過ぎた園児は、アンダーミラーでしか確認できなかったため、やはり発進するときは、左右前方(ミラーもしっかり見て)確認してから、発進する。	○	○			
40	大柏橋交差点	右折しようとしているとき	右折レーンで、先頭から2台目で信号待ちをしていたところ、右折信号が出て、対向車の先頭車両も停止したので、前車に続き右折しようとしたときに、対向車の先頭から2台目の対向車が右折レーンを使用して交差点を直進していった。	青信号であっても周りの状況を確認して運転する。		○			
41	浦安市東京学館浦安高付近	走行中	見通しの悪い道路を走行中、歩道を走っていた自転車が突然道路を横断してきたため、急ブレーキを踏んだ。	学生などの多い場所での運転は広い道路でも油断せず、無理な追い越しはしない。急に飛び出してくる可能性もあるので、いつでも止まれるスピードで走行する。		○			
42	収集先	積み込み作業中	後ろからいきなりゴミを入れてきた女性がいた。	周りの状況を今まで以上に確認して作業する。緊急ストップボタンの作動確認を徹底する。		○			
43	浦安市富岡交番交差点	右折しようとしているとき	前方信号が赤になり、先頭の直進車が止まったので右折しかけたとき、後方の車が先頭車両を追い越して直進してきたので急停止した。	改善しようがないので、危険予知をするしかない。		○			
44	湾岸道路	左折車線で左折しようとしたとき	タクシーが一方通行の道路から一時停止もなく飛び出してきた。	左折する時はスピードを落とし、周囲の安全確認をする。		○			
45	国道357号線舞浜交差点	右折しようとして信号待ちしていたとき	右折矢印信号が点灯したので発進しようとしたところ、信号無視の直進車が走行してきた。	信号が変わっても即時に発進せず、一呼吸おいてから発進する。		○			
46	浦安クリーンセンター内	荷下ろしをする為、ゲートに向かおうと方向転換しかけたとき	方向転換しようと前方左にハンドルを切った際に、後方から一般車両が前進してきた為、自車左側に接触しそうになった。	業務用車両と一般車両の通行帯を作って、通行区分がはっきり分かるようにしてもらう。	○		○		
47	本八幡駅前交差点	左折しようとしたとき	青信号確認後に左折しようと左側ミラーと直視にて巻き込み確認し、徐行にて左折動作に入ったところ、右側から信号無視の自転車が自車の前を横切って行った。	左側確認後、右側もよく確認して徐行で進行することを徹底する。必要ならば一時停止して安全確認をする。		○			
48	鬼高のABCハウジング	ゴミ回収作業時	歩道の道端が広い場所の為、スポーツタイプの自転車がかなりのスピードを出してきて、気づくのが遅れ、ぶつかりそうになった。	暑くて散漫になりがちだが、しっかり安全を確認して回収作業をする。		○			

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動 (本人)	不安全行動 (他人)	不安全 状況	不安全 設備	重機 作業
49	市川市東浜	回収場所から道路に出ようとしているとき	片側二車線の道路に出るため、歩道の左右確認をし、進行方向の左側に顔を向けてアクセルを踏もうとしたら、車道を逆走してきたロードバイクが自車のギリギリを通過していった。	自転車に乗る人たちに交通ルールが周知されておらず、自車の360°どこからでも自転車が出てくるものと思い、運転する。		○			
50	浦安市今川	トラックで回収現場に行く途中	交差点の手前で自車の左車線を走行していた大型トラックが、ウインカーを出さずに車線変更してきた。	周囲に絶えず注意し、交差点手前などは急な車線変更を予想して「かもしれない運転」をする。		○			
51	市川市塩浜付近	建物から右折で出て、信号待ちをしていたとき	対向車線を跨いで、トラックの後方部分が少し出ている状態で信号が青に変わったので、トラックを車線内に入れようとしたら、横からすり抜けてきたバイクと接触しそうになった。	トラックの後方部分が出ないようにするというのはもちろんだが、普段から危険予知をしっかりとやる。「多分大丈夫」ではなく、常に最悪の展開を考え、一つ一つの行動に責任を持つ。		○			
52	市川市南八幡付近	トラックを運転中	コンビニ店の出入口直近に横断歩道があり、店内から駆け足で出てきた買い物客が、そのまま横断歩道を走り抜けて行った。	コンビニやバス停など、人が集まるような場所はいつもより速度を落とし、危険な場合に対処できる気持ちでいる。		○			
53	妙典駅前交差点	信号待ちをしているとき	信号が青になったので発進しようとしたところ、歩行者が携帯を見ながら赤信号で渡ってきた。	信号が青になっても歩行者や自転車が来ないか確認してから発進する。		○			
54	浦安市東野	積み込み作業をしているとき	発砲スチロールを一回にたくさん持って行こうとしたが、風が強かったため、発砲スチロールが少し飛ばされてしまった。車が通っていたら危なかった。	発砲スチロールのみならず、一回で無理に持って行かない。自分で確実に持てる量を持って行く。	○				
55	八幡駅付近	信号待ちをしているとき	左側から自転車がスピードを落とさずに走行してきた、左側サイドミラーに接触しそうになった。	自転車に乗っていた人が頭を下げながら走行したので接触はしなかったが、自転車が安全に走行できるだけのスペースを確保して停車する。		○			
56	市川市田尻	パッカー車走行中	左側にいるお母さんのもとへ、右側(反対車線)から子どもが飛び出してきた。	子どもの集団や親子など、道路をはさんで居る場合があるので、安全な速度や徐行、一時停止で通過する。		○			
57	道路上	走行中	狭い道路で、イヤホンをしながら前方を走っていた自転車が、急に左側から右側に移動した為、もうちょっとで接触しそうになった。スピードが出ていたら危なかった。	そのような自転車・歩行者がいた場合は、必ずスピードを落とし、予測運転をする。		○			
58	市川市田尻	走行中	・自転車が歩道から急に車道に出てきた。 ・車から降りようとしたとき、後方から自転車が来て、ぶつかりそうになった。	自転車・歩行者の動きを確認して徐行する。	○	○			
59	高石神	走行中	狭い抜け道から、歩行者・自転車などが急に飛び出してきた、接触しそうになった。	左右前後の安全確認を徹底する。		○			

60	市川市真間	積み込み作業後、次のステーションに行く時	車の後ろから、前方のステーションへ行く時、作業員がよく確認せずに自転車と接触しそうなことがよくある。	前後左右の確認をしっかりと、次のゴミステーションに行く。		○				
	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業	
61	狭い路地の交差点	左折でT字路に出ようとしているとき	左側から来た複数の自転車が、ノーブレーキで自車の両脇に向かって右折してきた。	交差点に進入するときは、すぐに止まれるスピードで行く。自転車がいないときは、全ての自転車をやり過ごしてから、交差点に進入する。		○				
62	市川市大和田	ビン・カン回収中	ビン・カン回収に集中しすぎて、自転車と接触しそうになった。	周りの状況を確認して一呼吸おき、安全確認してから回収する。	○					
63	葛西インター付近	高速道路を走行中	四つ木方向から、中央環状線を葛西方面に走行中、右側車線から他車が急に車線変更してきた。他県ナンバーだったので、道を間違えたと思われる。	インター付近、交差点などは車間距離を取り、日曜日は道に慣れてない車も走っていることなども考慮すべき。		○				
64	信号のない交差点	交差点の手前を走行しているとき	イヤホンをしながら左側を走行していた自転車が突然、交差点をななめに走り抜けていった。	十分に周りの状況を見て、走行する。		○				
65	357号線幕張周辺	走行中	左車線を走行中、右車線を走行していた乗用車が突然、指示器を出さずに前に割り込んできて、接触しそうになった。	走行中は常に危険な車が近くにいると思いながら、注意して走行する。		○				
66	357号線西浦交差点右折レーン	信号まちをしていたとき	右折車両が詰まってしまう、停止線を越えた所で信号待ちしていたら、左折してきたトレーラーが曲がれなくなってしまった。	前の青信号で、前車が進むと思い込み、出すぎてしまった。青信号でも進めないかもしれないと考えながら、運転する。	○					
67	二俣交差点付近	走行中	片側二車線道路の右側を走行中、左側渋滞中の中からダンパーカーが止まりもせずに出てきた。	渋滞中の車両の間からは、車両が必ず飛び出してくると思い、もっと注意して、最徐行で走行する。		○				
68	関越道	走行中	左車線を走行中、右車線を走行していた乗用車が突然、指示器を出さずに、自車の前に割り込み、接触しそうになった。	走行中は常に危険な車が近くにいると思いながら、注意して走行する。		○				
69	357号線船橋市若松	走行中	片側二車線道路の左側車線を走行中、後方右側から来た車両が突然、指示器も出さずに自車の前方に進路変更し、赤信号で停止したため、追突しそうになった。	周囲の確認 車間距離を十分に取る。		○				
70	事務所入り口の信号	右折しようとしたとき	対向車の影からバイクが出てきてヒヤリとした。	右折時に一呼吸し、安全を確認してから曲がること。		○				
71	処理場内	場内にて車両の移動をしようとしたとき	車両を動かそうとしたとき、重機が建屋の中から出てきて、車両後方右側に当たりそうになった。	車両、重機を操作するときは、常に周囲への確認を怠らない様にする。		○				○

72	東関道上り市川インター出口 国道357との合流地点	大型トラックで走行中	インター出口から国道357号に出ようとしたとき、かなり距離のあったトラックが急接近して来た為、ブレーキを踏んでやり過ごした。	国道357号はスピードを出している車が多く、自分が走行している中で一番の危険箇所箇所と思われるので、インター出口ではタイミングをよく見ながらの進入を心掛けている。		○	○			
	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業	
73	処分場	処分先を出る為、左右確認し、右折しようと思ったとき	右側から軽自動車が出来ていて、危うくぶつかりそうになった。	左右の確認をもっとしっかりとする。	○					
74	処分場	処分場を出る際	左から自転車が接近してきて、接触しそうになった。	左右の確認をしっかりとする。	○					
75	葛飾区新小岩	細い路地を右折する為、手前で一時停止したとき	自車が曲がる方向から自転車が飛び出して来た。	曲がる手前で一時停止したため防げたが、今後も安全確認の徹底に努める。		○				
76	江戸川区篠崎町	一方通行路の交差点にさしかかったとき	相手側に一時停止義務があったが、こちらが交差点手前で一時停止したところ、右方向から一時停止を無視した車が、スピードを落とさずに交差点に進入して来た。	こちら側に一時停止義務がなくても、交差点を通過する際は、常に一時停止するぐらいの気持ちでいる。		○				
77	江東区新木場	片側二車線道路を走行中	隣の車線から、急な車線変更をされた。	スピードを控え、「かもしれない運転」を徹底する。		○				
78	千代田区丸の内	回収作業中	床を清掃中だった為、洗剤で足を滑らせ、転倒しそうになった。	作業中は常に周囲に気を配り、足元に注意する。	○		○			
79	環状7号線	走行中	左側車線で左折しようとしている車を、後ろから来た車が追い越そうとして、自車の前に急に割り込んで来た。	常に周りの状況を把握し、割り込んできそうな車がいれば、速度を落としたり、車間距離をもっと取って運転する。		○				
80	行徳バイパス市川IC方面	走行中	左側車線上に駐車車両が居たので右側車線に移動したところ、前方の車両が右折しようとブレーキを踏んだ為、追突しそうになった。	駐車車両を確認したら早めの車線変更をするなど、今後は早め早めに状況判断をし、もっとゆとりのある運転を心掛ける。		○				
81	江東区東陽	交差点で右折待ちをしているとき	直進車が赤信号を無視して進行してきた。	「かもしれない運転」を徹底する。		○				
82	江東区篠崎	走行中	信号機のない交差点で、相手方が一時停止義務を無視して進行して来た。	瞬時に停止できるスピードと、「かもしれない運転」を心掛ける。		○				
83	首都高4号線分岐地点	分岐地点の手前の右側車線を走行中	車線変更禁止ラインがあるのにも関わらず、無理やり自車の前に割り込まれた。	高速道路分岐地点などは、運転に慣れない人や、分岐でどちらに行くかわからない人などがいる為、急な減速や急な車線変更があるので、十分な車間距離を取り、常に周囲の状況を確認しながら走行する。		○				
84	信号機のある交差点	こちら側が青信号だったので、そのまま直進しようとしたとき	交差点左側より、赤信号を無視した自転車が交差点に進入してきた。	こちら側の信号がたとえ青でも、常に「かもしれない運転」を心掛け、十分に注意を払う。		○				

85	青山一丁目付近	交差点を通過するとき	道路の摩耗が激しく、凹凸にタイヤがはまり、ハンドルを取られそうになった。	交差点は交通量が多く、路面状況が悪いことがあるので、信号手前で必ず減速して徐行する。						○	
86	回収先	ダンボールの回収をしているとき	三台あるパルテナの中の一台が箱詰めのだんボールで、その中にスプレー缶が入っていることに巻いている途中で気付き、取り除いた。	折りたたみ以外のダンボールは回収時に必ず中を確認してから巻く。	○						
	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業		
87	首都高	走行中	地方ナンバーの車がJCT付近で急にスピードを落とし、迷いながら運転していた。	十分な車間距離を取っていたので何事もなかったが、これからも「かもしれない運転」を心掛ける。		○					
88	信号機のある交差点	走行中	早朝ということもあり、左側から来る自転車には注意をしていたが、案の定、信号無視をして交差点に入ってきた自転車がいたのでブレーキを踏み、手前で停止した。しかし、バックミラーを見たら、すぐ後ろに後続車が停まっていた。	自転車の動きには十分注意していたが、交差点の手前ではもう少し早くから減速する。		○					
89	回収先	回収作業中	回収物の入っているパルテナが、目を離れたすきに動き出し、車路に出そうになった。	ストッパーの無いパルテナは、ストッパー付きの物に交換する。目を離さず、片手は必ずパルテナにかける。パルテナが動くことは分かっているので、十分に注意する。	○						
90	三車線の道路	走行中	三車線の中央を走行中、前を走る乗用車がいきなりブレーキをかけ、かなり減速してから右車線に移動した。前方は空いていたのでびっくりして、ブレーキを踏んだ。	前走車は、車線変更の際に右車線に何台か車がいたため、ブレーキングしてから車線変更したらしい。何が起るかかわからないので、思い込みはせずに、もっと車間距離を取り、急ブレーキを踏まずにすむ運転をする。		○					
91	篠崎町の路上	曲がり角	一方通行を逆走してきた車と衝突しそうになった。	曲がり角では必ず一時停止し、左右の確認をする。		○					
92	篠崎町の路上	信号待ちをしているとき	青になったので発車したところ、右側から自転車が飛び出して来た。	信号が青になっても、必ず左右の確認をする。		○					
93	駐車場(西友東陽町店)	駐車場に進入するとき	歩行者道路から自転車が横切ってきた。	歩行者道路を横切る際には、必ず一時停止をし、死角にも十分に気を付けて進入する。	○						
94	京葉道路	信号待ちをしているとき	発車しようとしたら、脇からバイクがすり抜けて自分の前に来た。	発車前の周囲確認(三点確認)を行うこと。		○					
95	収集先	パッカー車で収集中	清掃員がパッカー車に手を入れようとしていた。	積込み時には常に周りに注意する。		○					
96	収集先	一般廃棄物を回収作業中	回収場所に進入しようとしたとき、いつもは全開になっていたシャッターが、その日は3分の2しか開いておらず、シャッターに接触しそうになった。	開いているだろうと思わず、まず確認する。	○				○		

97	船堀街道 (江戸川区)	走行中	自転車歩道から急に車道に飛び出して来た。	歩行者や自転車は急にどんな動きをするかわからないので、近くを走行するときは、速度を落として走行する。		○					
98	江戸川区中央	走行中	一時停止側の車が、停止せずに走行して来た為、接触しそうになった。	細い路地などを走行中、交差点を通過する際は、徐行運転を心掛けるようにする。		○					
	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動 (本人)	不安全行動 (他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業		
99	首都高湾岸線 (東行) 新都心副都心出口付近	出口で下りる為、左側車線を走行中	中央車線のトラックが急に進路変更をして、出口車線へ割り込んできて、追突しそうになった。	ゆとりを持った運転を行い、ルート等(入口・出口)は早めに確認しておく。		○					
100	京葉道路 東京方面 東小松川交差点	信号が青に変わったので、発進しようとしたとき	先頭の車両が発進しておらず、2両目の車両と3両目(自車)が追突しそうになった。	前の車両の動きだけでなく、視野を広げて見る。 一呼吸おいてから発進する。	○						
101	交差点	先頭で信号待ちをしているとき	信号が青になったので発進したところ、右方向から信号無視したワゴン車が来た。	信号が青になってもすぐに発進せず、ワンテンポ遅らせて発進する。		○					
102	裏通りの路地	徐行して走行中	高校生が乗った自転車が横道から飛び出して来た。徐行していたので停まれたが、スピードが出ていたら危険だった。	裏通りは何があるかわからないので、徐行する。		○					
103	信号機のある交差点	左折しようとしたとき	左から来た自転車の影に自転車がいた。	自転車も歩行者にも、1台、1人ではないという意識を持ち、常に「かもしれない運転」を心掛ける。	○						
104	歩道をまたぐビルの出入口	一般道路から建物に入ろうとしたとき	樹木の影から小さな子どもが飛び出して来た。	いつ、いかなる時でも、「かもしれない運転」の徹底を心掛ける。		○					
105	所沢市秋津付近 (旧所沢街道)	大型車で走行中	狭い片側一車線の道路で、前方の4t車が少し右に寄ったが気にせずに走行していたところ、左側前方にバイクが路上駐車しており、接触を避ける為、急停止した。	低速走行中でも車間距離を確保する。	○						
106	所沢市秋津付近 (旧所沢街道)	先頭で信号待ちをしているとき	発進しようとしたところ、左側から自転車が自車前方をすり抜けて来て、ヒヤットした。	・発進時、左右側面の確認をする。 ・信号待ちで停車中でも、左右側面・後方の状況を意識して、ミラー等で確認しておく。		○					
107	京葉道路市川IC手前付近	走行中	追い越し車線から自車の前へ車線変更した乗用車が急減速した為、ヒヤットしてブレーキを踏んだ。	IC付近等では、無理な追い越し、急ブレーキや急減速をする車が多いことを意識して、車間距離を多目にとって運転する。		○					
108	国道16号線 柏市若柴付近	走行中	片側二車線の道路で、自車右側に大型ウィング車と併走しているとき、バイクが猛スピードですり抜けて行き、ヒヤットした。	左右のミラーで左右後方の確認をし、「かもしれない運転」をする。		○					
109	東京都瑞穂町南平付近	右折時	右折しようと横断歩道に差し掛かった際、街路樹が茂って見通しの悪い左方向から、自転車が急に横断歩道に進入してきたため、急ブレーキを踏んだ。	・横断歩道通過時は最徐行する。 ・横断歩道の信号が赤色でも信号無視する人がいると思い、注意する。 ・街路樹を剪定して見通しを良くしてもらう。		○	○				

110	福島県 栗子峠付近	工事による交差通行時	見通しの悪い左カーブの先で、再び交差通行の為に停車している車両に気づき、ヒヤットした。	工事看板があったが、1箇所だけだろうと自分勝手な思い込みがあったので、「かもしれない運転」を励行する。	○		○			
111	首都高5号線西台付近	右カーブ走行車線を走行中	追い越し車線前方で右側壁に衝突して横向きに停まっている乗用車を避ける為、4t車が急に走行車線へ寄ってきてヒヤットした。	・見通しの悪いカーブでは後続車に注意し、いざという時のために速度を抑える。 ・併走状態での走行はできるだけ避ける。			○	○		
	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業	
112	道路の交差点	大型車を運転中	歩行者用信号(歩行者・自転車専用)が赤になったので左折しようとしたら、自転車が信号を守らずに直進してきて、ヒヤリとした。	交差点では信号が変わっても、信号無視する自転車は比較的多く、その可能性を十分考慮して、安全確認を必ず行うこと。			○			
113	収集現場の敷地内(雨天時)	トラックに廃棄物の積み込み作業中、荷台の上り下りをしているとき	荷台にトラックの梯子で上ろうと足をかけたときに、滑って踏み外し、落下しそうになった。	滑り止めテープを梯子に貼っていたが、劣化していたので、早めにテープの貼り換えを行う。	○		○			
114	高速道路のETCゲート手前	空車で現場に向かうため高速道路に乗り、ETCゲート手前の3台目で走行中	3台前の車両がETCのエラーで急停止し、自車も前車に追突しそうになった。	常に前車が急停止するかもしれないと思い、速度と車間距離を調整して急停止に備える。				○	○	
115	一般市街地	収集現場に向かうため、トラックで走行中	交差点手前に路上駐車していたトラックの影から、一時停止をせずに乗用車が出て来て接触しそうになった。	自車側が優先道路でも駐車車両の影からの飛び出しに注意し、すぐに止まれる速度で走行する。			○			
116	一般道臨海トンネル	中間処理場に向かうため、トラックで走行中	交差点の二車線右折の右車線で、右折を開始した際に、左車線を並走していたトレーラーに巻き込まれて接触しそうになった。	並走車とはなるべく距離をおいて走行する。			○			

中間処理

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動 (本人)	不安全行動 (他人)	不安全 状況	不安全 設備	重機 作業
1	工場施設内	廃置の切断作業中	回転刃式の切断機にて廃置を切断中に置の切断くずが着火し、火災が発生しかけた。	回転刃が高速回転し、切断面と落下した置くずが高温となり、着火の危険があった。 低速の移動刃式の切断機の導入により、高速摩擦の危険は無くなった。				○	
2	場内	重機の点検	重機から降りる時に転落しかけた。	足元の確認	○				○
3	鶴見現場内	お客様を誘導中	誘導時、お客様が携帯電話を使用していた為、作業員の声が届かず重機と接触しそうになった。	現場内入場時はお客様に携帯電話の使用を控えてもらう。		○	○		
4	鶴見現場内	選別、荷下ろし作業中	荷下ろし時、トラックアオリを開けたら、荷が崩れてぶつかりそうになった。	安全を確認した後にアオリを開けるようにする。	○		○		
5	戸塚現場内	重機操作中	重機等で選別後の廃棄物を移動させる際、塩ビパイプなどの廃プラが跳ねて作業員に当たりそうになった。	各重機のオペは安全を確保できない場合、付近の作業員に声をかけ離れてもらい、操作を行う。 重機後方安全確認書にて対応し、オペはミラーではなく目視確認を徹底。 作業員は常に重機の位置と動きを予想する。			○		○
6	鶴見現場内	重機操作中	フォークリフトで箱開け回転作業中、長尺のパイプが手前に向かって落ちてきた。	大きなもの、長尺の物は選別用の箱に入れず、重機等で処理してもらう。			○		○
7	鶴見現場内	お客様を誘導中	お客様を誘導中、作業員の通路横断や重機及びフォークの動きに危険を感じた。	誘導員は声や手での合図を遂行。		○	○		○
8	戸塚現場内	選別作業中	現場内に敷いてある鉄板の段差につまずいて転倒しそうになった。	鉄板の間にはゴミが入りやすい為、メンテナンスを心掛ける。 定期的な清掃と、改善されるまでは段差について作業員皆に喚起を促す。	○			○	
9	戸塚現場内	重機操作中	重機(ユンボ)を旋回した際、誤ってフォークリフト用のコンテナに当たり、付近で選別作業を行っていた作業員に接触しそうになった。	狭い現場内なので重機等のオペレーター、選別作業員はお互いの動きを意識しながら作業する。 重機後方確認書にて対応。	○		○		○

10	自社中間処理施設内	ピット前でフレコンバッグを荷下ろしして、下ろしたフレコンバッグの紐を結ぼうとしたとき	荷下ろしたフレコンバッグを結ぶ作業に気を取られていたが、頭上に影が差したので見上げたところ、荷下ろし中のフレコンバッグが頭上を横切っていて、慌てて退避した。	フレコンバッグの荷下ろし作業の際には、荷物の軌道を考え、自分の立ち位置もよく考え、適正な位置で作業をする。	○		○			
11	自社中間処理施設内	重機を動かすために運転席に上がろうとしたとき	手すりを持ち、キャタピラに足をかけて運転席に上がろうとしたとき、キャタピラ部分が滑り、足を落としてしまった。運転席がピットへ向いていたらと思うとヒヤリとした。	三点昇降を行っていたので落ちることは無かったが、足元をしっかり確認して慎重に行動を行う。	○		○			○
	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業	
12	自社中間処理施設内	雨水ピットの水位を測定していたとき	手に持っていたスケールが滑ってピット内に落ちてしまった。これが高所作業中で下に人がいたらと思うとヒヤリとした。	紐等の持ち手部分があるものは、手にかけて作業する。そうでないものは、しっかりと持ち、高所では下にも注意して作業を行う。	○					
13	自社中間処理施設内	プラント上部での作業を行い、下に降りるとき	はしごから下りようとしたとき、はしごと長靴が濡れていたのと、手に道具を持っていたこともあり、足元が滑って2～3段落ちた。これが長いはしごだったらと思うとヒヤリとした。	確実に三点昇降を行う為、道具等は上下で受け渡しを行う。	○		○			
14	自社内 地下へ下りる階段	階段を下りているとき	油の汚れで足が滑り、転落しそうになった。	階段の清掃を定期的に行う。	○		○			
15	自社スクリーン室	スクリーンコンベアを清掃しているとき	回転部の清掃中にケレン棒が機械に巻き込まれそうになった。	清掃中は機械の電源を切る。	○					
16	自社プラント内	歩行中	マンホールの蓋がずれており、上を歩いた際に蓋が回転し、転落しそうになった。	蓋を閉めた際は、きちんとはまっているかを確認する。蓋の上は歩かない。	○		○			
17	自社プラント内	コンプレッサの整備中	部品を外した際に、高圧の空気が噴出し、怪我をしそうになった。	作業前に圧力計を確認する。バルブを開け、高圧の空気を抜く。	○					
18	自社工場内 新しく取り付け付けた防油堤の階段	雨の日に階段を下りているとき	足を滑らせ、思わず転倒しそうになった。	階段には滑り止め対策を実施する。	○		○			
19	自社工場内 廃プラ破砕機のステージ上	破砕作業時、廃プラが軽くて風で飛びそうのため、破砕機のステージ上部に上がり、投入口から直接投入していたとき	バランスを崩し、転落しそうになった。	安全柵使用の徹底と、それが有効でない場合は安全帯の使用を徹底する。転落の危険性と破砕機に巻き込まれる危険性があり、投入口に人が入らない対策を講ずること。	○		○			
20	自社工場内 廃プラ破砕機	廃プラ、廃ウエス等を破砕しているとき	その中にスプレー缶が混入していた。気づかずに破砕していたら、爆発や火災の危険があり、ヒヤリとした。	【客先、運転手、営業】破砕処理を行う廃棄物が入ったドラム缶の中に、スプレー缶を投入しないように徹底する。 【工場作業員】破砕物は展開検査を行い、目視で着実に選り分ける。			○			

21	熱交換器設備で	熱交換器のストレーナ交換作業で、ストレーナ蓋のボルトを緩めていた際に	熱交換器内部の酸性水が噴出し、身体にかかりそうになった。内部の酸性水が抜けていると思い込んで作業していた。	熱交換器の内部酸性水がすべて抜けたことを確認してから、蓋の取り外しを行う。	○		○			
22	水砕ストレーナ付近で	水砕ストレーナでの作業終了後、移動した際に	床に汚泥と水があり、足が滑って転倒しそうになった。	作業終了後、床面を汚したら、すぐに清掃する。	○		○			
23	新ガス精製北床ポンプにて	北床面の水位が上がっており、水を抜くため、水中ポンプの電源を入れに長靴で水位が高い中を移動した際に	長靴内に水が入ってきた。(長靴に穴が開いていた)	定期的に長靴の漏れチェックを行う。	○		○			
	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業	
24	保管庫前広場にて	フレコンバックを作りに行くため、フォークリフトを運転し保管庫前へ移動中、建屋の角を曲がる際に	協会の従業者が4Sを実施しており、従業者と接触しそうになった。	夜間は特に人を発見しづらいので、前照灯を点け、角を曲がる際はクラクションを鳴らす。作業者のヘルメットには反射テープを貼り、発見しやすくする。	○		○			
25	水処理室通路横にて	現場点検のため歩行中に	上部配管から酸性水汚泥水が噴出しており、被液しそうになった。(昼の作業で配管を外した後、復旧をしたがボルト2本で仮止め状態のままだった)	作業は最後まで確実にを行うことを徹底する。		○	○	○		
26	工場北側脱水機付近で	脱水機のフレコンバック交換作業のためフォークリフトから降りようとした際に	フォークリフトのボディについて手が滑り転倒しそうになった。作業時は雨が降っておりフォークリフトが濡れていた。	フォークリフト昇降時は昇降用ハンドルをしっかり握り昇降する。	○		○			
27	自社施設内2階階段途中で	2階ロッカー室で着替えたのち、階段を降りて帰る際に	階段の照明が切れており暗くなっていたため、足を滑らせ、転倒・転落しそうになった。	照明は、切れていたらすぐに交換する。階段昇降時は手摺りをしっかり握り、足元を良く見て昇降する。	○			○		
28	屋外スラグヤード最上階にて	スラグ磨砕機定量ホッパーを切り替えたとき	ゲートのレバーに左手の小指を挟んだ。	レバー操作の手鍵を製作し、レバー切替作業は手鍵で行う。	○					
29	地下で	踏み台を使用し、柱に塗装をしていた最中に	踏み台の天板が腐食でぐらついており、転落しそうになった。	踏み台使用時は使用前点検を行う。踏み台の天板には乗らない。	○			○		
30	タンク下部外側付近で	タンク下部の汚泥詰り除去作業をするため、配管にホースを繋ぎ、タンク下部をエアにてパブリングしている際に	ホースバンドが緩んでおり、エアの圧力を上げたときホースが外れ、被液しそうになった。	ホースは奥までしっかり差込み、2重のホースバンドでしっかり固定する。エア圧力を上げる際は、徐々に上げていく。	○		○			
31	水処理北側階段で	タンクの水位を見に行くため階段を昇っている際に	五段目で足を踏み外した。両手で手摺りを持っていたので転倒・転落にならなかった。	足元をしっかりと見て、一段一段確実に昇降する。	○					

32	屋外にて	樋掃除をして戻る際に	工場の梁に頭をぶつけた。	梁が低く、頭をぶつけやすいのでピンクリボンを取付け、注意喚起をした。	○				○	
33	水処理設備タンク近傍にて	ポンプ詰り除去のため、タンク直近のバルブを閉めて配管取外し作業を実施中に	配管を外したフランジ部からタンクの液が噴出し被液した。	バルブを閉めていても漏れることはあるので、タンク内の液を抜いて作業を実施する。	○					
34	水処理設備にて	点検作業時の歩行中に	床面より数センチ出ている不要なアンカーボルトに躓き転倒した。	不要なアンカーボルトは切断し、平らにした。歩行時は思っているより足が上がらない場合もあり、足を上げるよう意識しながら歩行するよう注意喚起をした。	○				○	
	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業	
35	酸性水熱交換器にて	バルブを開ける作業で、バルブが固くなっていたので力を入れて開けようとした際に	急にバルブが軽くなり、勢いあまり、バランスを崩して足場から転落しそうになった。	バルブ操作は、急に軽くなることもあるので慎重に操作を心がける。定期的にバルブに潤滑剤を塗布する。	○					
36	中間処理施設内ダンピングヤード	トラックの荷をダンピングヤードに降ろすため、バックで進入するとき	バック走行中に後方を作業員が横切り、接触しそうになった。夜間作業で誘導員は不在であった。	バック進入する前に作業員に声をかけ、誘導に従って進入する。	○		○			
37	工場内	仕分け作業中	大型車がコンテナを引き上げている際、コンテナの横に居たため、ドライバーの死角に入ってしまった。	・ドライバーはコンテナを交換する前に無線で作業員に連絡を入れる。 ・ドライバーはコンテナを交換する直前に降車し、後方を確認しに行く。	○		○		○	
38	工場内	重機で荷を展開するとき	重機(マグネット)で荷を展開した際、中に塩ビ管があり、その塩ビ管をつぶしてしまったため飛散しそうになった。	・荷を展開する前に危険な物は除去する。 ・荷を展開する際は、作業員を近づけない。	○					○
39	工場内	誘導しているとき	2番レーンからバックで出る重機(ホイールローダー)を誘導していた際、3番レーンに入るはずの車両が2番レーンに入ってきて、重機と接触しそうになった。	誘導員は大きなジェスチャーで確実な指示を出す。		○				○
40	工場内	ダンピングヤード内でホイールローダーに乗車中	ホイールローダーのバケットの中の荷を移動しようとバックした際、落ちていた塩ビ管をタイヤで踏んでしまい、塩ビ管が跳ねて作業員に当たりそうになった。	・重機の動線内の荷の上に乗らない。 ・塩ビ管など、跳ねる恐れのあるものは、自車を動かす前に排除する。 ・誘導員の合図が出るまで発進しない。	○		○			○
41	工場内	フォークリフト運転中	フォークリフトで荷を移動中、コンテナの影から作業員が出て来て接触しそうになった。	コンテナの横を通る際は、危険予知を行い、徐行して通過する。		○				○
42	構内	トラックから荷下ろし中	荷台でドラム缶を扱っているときに、中身が入っているものと思いきり引っぱったが、空だった為、後ろに転倒してしまった。	空のドラム缶だと見た目で見分ける様に表示をする。	○					